

指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語 I	3	第 1 学年	教科書：Revised COMET English Communication I (教研) 副読本：Zoom English Grammar 27 New (第一学習)

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・ **English communication I** の授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という 4 技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。
- ・ 音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。慣れるまで時間がかかるかもしれませんが、口の筋肉を鍛えるためにも授業では重視します。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の 4 技能の到達目標）

【第 1 学年】履修科目：「コミュニケーション英語 I」（3 単位）

主な教材：上記科目の教科書・副読本

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
アイコンタクトやジェスチャーを用いて簡単なあいさつができるようになる。事前に準備した上で基本的な語・表現を使い、自分や他人を紹介できるようになる。	コミュニケーション英語 I インタビューテスト 暗唱テスト	アルファベットを始めとし、文の構造を理解し、自己紹介等を簡単な英文で書くことができる。	コミュニケーション英語 I ライティングテスト 定期考査	趣味や家族、ペットなど身近なトピックの短い内容をゆっくりはっきり話されれば聞き取れるようになる。	コミュニケーション英語 I リスニングテスト 定期考査	教師の指導により教科書本文の内容を理解し、英文を音読することができる。	コミュニケーション英語 I リーディングテスト 音読テスト 定期考査

3 学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	意思の疎通を図ることに興味及び意欲を持って、言語活動を行っているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語や英語がグローバル化したその歴史、またそ背景にある文化等を理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Get Ready (7 時間)	文の型等 中学で習った基本的な英語を使って、自己紹介や、ペアの相手の紹介をする。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークで互いに協力しながら会話を続ける。	・各表現ごとの内容に対して、キーワードをワークシートにメモし、それを参考にしてペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組む状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・英語を勉強する理由を、自分の言葉で表現さす。	・人称を変えることで、be 動詞の変化に注意する。	・ペアワークを通して、お互いが自己紹介を中心に会話できているか。	・授業時間内に実施するペアワークの完成度および、ペアの相手を紹介する活動でイントネーションや表現力を判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・紹介英文を通し、一人称と三人称の区別する。	・紹介を通して、名前や出身地また、誕生日といった個人のことを伝えることの大切さを学ぶ。	・自分や相手を紹介することを、主語を変化させることが理解できているか。	・授業時間内に実施するペアワークによりイントネーション、動詞の変化等が正しくできているか。
「言語や文化についての知識・理解」					
・自己紹介や、ほかの人を紹介するときの表現を理解する。	・この単元で使われている意味や表現を確認する。	・キーとなる表現やその使い方を理解している。	・主語の変化による動詞の変化を、定期テストの筆記テストで確認する。		
Lesson 1 (8 時間)	英語を勉強する理由についての答え方 文法事項 動詞の時制	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・英語を勉強する理由を考える。	・本文にある英語を勉強する理由を、音声を流すことで聞いて、大まかな内容を理解する。	・英語を勉強する理由を考えるに当たり、キーワードを参考にさせ、自分の考えを導く。	・ワークシートを使ってその内容を取り組み状況として判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・英語を勉強する理由を、自分の言葉で表現さす。	・ペアで、キーワードを参考にして、英語を勉強する理由を伝え合う。	・英語を勉強する理由をキーワードを使って実際に書いてみる。	・授業中に実施する自分なりの理由を発表することで、表現力を判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・英語を勉強する理由をお互い発表することでを野理由を理解する。	・本文の音声を聞いて、その理由をワークシートにメモさせる。	・自分の理由をほかの人の理由の違い等を理解する。	・定期考査での筆記テストにより確認する。
「言語や文化についての知識・理解」					
・時を表す表現について理解する。	・本文の内容を元に英語の大切さを理解させる。	・英語がどうしてグローバル化してきたのかその歴史等を理解する。	・定期考査での筆記テストにより確認する。		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 2 (18 時間)	2013 年、和食はユネスコの無形文化遺産に登録されました。クラスメートのハルがインターネットで海外の読者に和食の魅力を発信します。 助動詞(can / may / must)について理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークで互いに協力しながら音読を続ける。	・各表現ごとの内容に対して、キーワードをワークシートにメモし、それを参考にしてペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組む状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・音読を通じて、イントネーションシャドーイングをトレーニングする。	・ペアで音読する。	・お互いが協力し合って音読をしているか。	・ペアでの音読活動を観察。
		「外国語理解の能力」			
		・食に関する英語について理解する。	・リスニングを通して、本文の内容を理解する。	・リスニング用のワークシートを使用する。	・ワークシートを提出させて評価する。
「言語や文化についての知識・理解」					
	・食に関する英語について理解する。	・助動詞(can / may / must)を使った表現を理解する。	・本文の内容に即した簡単な英作文をする。	・定期考査での筆記テストにより確認する。	
Lesson 4 (18 時間)	海外の学校と日本の学校との違いを理解する。 文法事項 不定詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		本単元では設定しない。	・ワークシートを利用して、海外と日本の学校の違いを説明する。	本単元では設定しない。	
		「外国語表現の能力」			
		・ペアで協力して、音読を続ける。	・発話練習を通して、その内容を理解する。	・ペアで協力して、音読を続ける。	・ペアでの音読活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		・四名の話す内容を理解する。	・リスニングによって、4名の学校の特徴をワークシートにメモを取る。	・4名の学校の特徴を聞くことができる。	・使用したワークシートの理解度にて判断する。
「言語や文化についての知識・理解」					
	・海外の学校と日本の学校との違いやその理由を理解する。	・本文の内容を聞き取る更に必要な文化的背景をワークシートにメモを取りながら理解する。	・海外の学校との違いを理解するに必要な事情や背景を理解している。	・定期考査での筆記テストにより確認する。	

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (10時間)	ピースは日本で始めて人工保育に成功した白熊です。親代わりとしてどんな苦勞をして育てたのでしょうか。 文法事項 動名詞について	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞き取れない箇所や道の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・セクションごとに、本文の音声を読み、ピースの飼育についてのポイントをワークシートにメモする。	・知らない語句があっても、推測するなどして聞き続けている。	・ワークシートを提出させて、その内容で取り組み状況を判断する。
		「外国語表現の能力」			
		本単元では設定しない。	・ワークシートを利用してピースの飼育やその説明を理解のうえ、音読をペアで行う。	本単元では設定しない。	
		「外国語理解の能力」			
		ピースについて英語で簡単な質問に答える。	・セクションごとにその内容に関する質問をワークシートに用意し、ペアで答える。	・ペアで真剣に取り組んでいるか。	・ワークシートを提出させて、その内容で取り組み状況を判断する。
「言語や文化についての知識・理解」					
・人工保育の問題点や人工保育にいたる理由について理解する。	・本文の内容を読み取るときに必要な事項をワークシートにメモを取って理解する。	・本文の内容について必要事項を理解している。	・定期考査での筆記テストにより確認する。		
Lesson 8 (11時間)	コンビニエンスストアには、いろいろな工夫があります。クラスメートの研究発表を聞いてみましょう。 文法事項 分詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		本単元では設定しない。	・ワークシートを用意して、コンビニの成功の鍵をペアで確認する。	本単元では設定しない。	
		「外国語表現の能力」			
		・コンビニの説明を読み、その内容を理解する。	・ワークシートを用意し、ペアで説明の箇所を見つけて、書く。	・間違うことを恐れず積極的にペアで取り組んでいるか。	・ワークシートを提出させて、その内容で取り組み状況を判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・コンビニについての成功の鍵を本文の音声聞くことで理解する。	・ワークシートを用意して、本文の音声聞くことによってポイントを抜き書きする。 ・ペアワークとする。	・ペアで真剣に取り組んでいるか。	・ワークシートを提出させて、その内容で取り組み状況を判断する。
「言語や文化についての知識・理解」					
・コンビニの成功のコツを理解する。	・本文の内容を読み取るときに必要な事項をワークシートにメモを取って理解する。	・本文の内容について必要事項を理解している。	・定期考査での筆記テストにより確認する。		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 9 (21 時間)	マララ・ユスフザイさんは2014年にノーベル平和賞を受賞しました。彼女は何を経験し、世界に向けてどんなメッセージを発しているのでしょうか？ 文法事項 比較	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		本単元では設定しない。	・マララさんについてどの程度の知識があるのか確認の上、ペアでワークシートに書き出す。	本単元では設定しない。		
		「外国語表現の能力」				
		・マララさんの体験について読んだ上で、キーとなる表現を使って、簡単な英作文を書く。	・「比較」の表現を用いて、ワークシートを使って英作文をペアで完成させる。	・躊躇せずに積極的に参加しているか。	・ワークシートを提出させて、その内容で取り組み状況を判断する。	
		「外国語理解の能力」				
		・マララさんの経験を理解する。	・セクション別に本文の音声を聞くことで、彼女の経験をワークシートにメモを取る。	・積極的に参加しているか。	・ワークシートを提出させて、その内容で取り組み状況を判断する。	
「言語や文化についての知識・理解」						
・マララさんの故郷の状況や女性に対する差別の存在を理解する。	・本文の内容を聞き取る時に必要な事項をワークシートにメモを取って理解する。	・間違うことを恐れず積極的にペアで取り組んでいるか。	・定期考査での筆記テストにより確認する。			
		「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		「外国語表現の能力」				
		「外国語理解の能力」				
「言語や文化についての知識・理解」						